



SDS No: SI-010022-01J

作成日: 2023/02/01

安全データシート

Safety Data Sheet

製品コード:010022

コントロールスタンダードエンドトキシン,CSE(E.coli O113)

| セット内容: | | SDS 番号 |
|--|-----|-------------|
| (1) Control Standard Endotoxin Control Standard Endotoxin | 1 本 | WPS-ACC-008 |

生化学工業株式会社

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7252:2019、 JIS Z 7253: 2019

発行日 02-11-2022

改訂日 02-11-2022

改訂番号 1

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 Control Standard Endotoxin

別名 CSE

製品コード (製造元コード) E0005 and E0125

登録番号 情報なし

安全データシートの供給者の詳細

輸入者

生化学工業株式会社
事業推進本部 海外事業推進部 LALグループ
東京都千代田区丸の内一丁目6-1
Tel:03-5220-8953 Fax:03-5220-8956
Email: lal@seikagaku.co.jp

製造元

Associates of Cape Cod Inc.
124 Bernard E. Saint Jean Drive
East Falmouth
MA, 02536, USA
Tel (1)508-540-3444

緊急連絡電話番号 化学品輸送緊急センター: +1-360-256-7365 (国際)
1-800-704-9215 (北米)

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 エンドトキシン検出のためのエンドトキシン標準曲線

使用上の制限 情報なし

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

世界調和システム (GHS) による危険物有害性の物質でも混合物でもない

| | |
|---------------------|----------|
| 誤えん有害性 | 分類できない |
| 急性毒性 (経口) | 分類できない |
| 急性毒性 (経皮) | 分類できない |
| 急性毒性 (吸入) - ガス | 区分に該当しない |
| 急性毒性 (吸入) - 蒸気 | 分類できない |
| 急性毒性 (吸入) - 粉じん/ミスト | 分類できない |
| 皮膚腐食性/刺激性 | 分類できない |
| 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 | 分類できない |
| 呼吸器感作性 | 分類できない |
| 皮膚感作性 | 分類できない |
| 生殖細胞変異原性 | 分類できない |
| 発がん性 | 分類できない |
| 生殖毒性 | 分類できない |
| 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) | 分類できない |
| 特定標的臓器毒性 (反復ばく露) | 分類できない |
| 水生環境有害性 短期 (急性) | 分類できない |

| | |
|----------------|----------|
| 水生環境有害性 長期（慢性） | 区分に該当しない |
| オゾン層への有害性 | 分類できない |

ラベル要素

危険有害性情報

- 区分に該当しない

注意書き

安全対策

- 該当しない

応急措置

- 該当しない

保管

- 該当しない

廃棄

- 該当しない

他の危険有害性

- 情報なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

製品には、指定の濃度で健康に対して危険有害性であると考えられる物質は含まれていない。

2023年3月31日迄 化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）

該当しない

2023年4月1日以降 化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）

該当しない

労働安全衛生法

通知対象物質

該当しない

表示対象物質

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

4. 応急措置

| | |
|-----------|--|
| 吸入した場合 | 空気の新鮮な場所に移すこと。症状が出た場合には医師の手当てを受けること。 |
| 皮膚に付着した場合 | 皮膚を石けん（鹸）と水で洗うこと。症状が出た場合には医師の手当てを受けること。 |
| 眼に入った場合 | まぶた（瞼）の裏側まで多量の水でよく洗うこと。洗っている間は目を大きく広げたまま |

| | |
|-----------------------|--|
| | にすること。症状が出た場合には医師の手当てを受けること。 |
| 飲み込んだ場合 | 口を水ですすぐこと。医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。直ちに医師に診察/手当てを受けること。意識のない者には、何も口から与えてはならない。 |
| 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 | 嘔吐。下痢。吐き気。 |
| 医師に対する特別な注意事項 | 症状に応じて治療すること。 |

5. 火災時の措置

| | |
|-----------------------|--|
| 適切な消火剤 | 粉末消火剤、二酸化炭素、耐アルコール泡消火剤又は水噴霧。 |
| 使ってはならない消火剤 | 提供された情報に基づき知見なし。 |
| 特有の危険有害性 | 提供された情報に基づき知見なし。 |
| 爆発性 | 情報なし。 |
| 特有の消火方法 | 提供された情報に基づき知見なし。 |
| 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 | 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。個人用保護具を使用すること。 |

6. 漏出時の措置

| | |
|-----------------------|--|
| 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 | 十分換気されているか確認すること。皮膚及び眼との接触を避ける。指定された個人用保護具を着用すること。 |
| 緊急対応を行う者のための保護具 | 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。 |
| 環境に対する注意事項 | 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。 |
| 封じ込め方法 | 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい（洩）又は漏出を防ぐこと。 |
| 浄化方法 | 粉じんの発生を避けること。廃棄するためにほうきで集め、シャベルで適切な容器にすくい取ること。 |
| 二次災害の防止策 | 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。 |

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

| | |
|----------|---|
| 安全取扱注意事項 | 皮膚及び眼との接触を避ける。個人用保護具を使用すること。エアロゾルの生成を避けること。 |
| 保管 | |
| 安全な保管条件 | 容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。2~8℃の温度で保管すること。 |

8. ばく露防止及び保護措置

| | |
|---------------|--|
| 設備対策 | シャワー 洗眼場 換気システム |
| 許容濃度 | この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界が設定された危険有害物質を一切含んでいない。 |
| 生物学的職業性ばく露限界値 | この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値が設定された危険有害物質を一切含んでいない |
| 環境ばく露防止 | 情報なし。 |
| 保護具 | |
| 呼吸用保護具 | 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、換気及び排気が必要になる。 |
| 眼及び／又は顔面の保護具 | サイドシールド付き保護眼鏡（又はゴーグル）を着用すること。 |
| 手の保護具 | 特別な保護具は必要とされない。 |
| 皮膚及び身体の保護具 | 特別な保護具は必要とされない。 |

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

| | |
|---------|----------|
| 外観 | 凍結乾燥、 薄膜 |
| 物理状態 | 固体 |
| 色 | 無色 |
| 臭い | 情報なし |
| 臭いのしきい値 | 情報なし |

| 特性 | 値 | 備考・方法 |
|------------------------|---|-------|
| 融点／凝固点 | | データなし |
| 沸点又は初留点及び沸点範囲 | | データなし |
| 可燃性 | | データなし |
| 爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 | | データなし |
| 爆発又は可燃の上限界 | | データなし |
| 爆発又は可燃の下限界 | | データなし |
| 引火点 | | データなし |
| 蒸発速度 | | データなし |
| 自然発火点 | | データなし |
| 分解温度 | | データなし |
| pH | | データなし |
| 粘度 | | |
| 動粘性率 | | データなし |
| 動的粘度 | | データなし |
| 水への溶解度 | | データなし |
| 溶解度 | | データなし |
| n-オクタノール／水分配係数 (log 値) | | データなし |

| | |
|-----------|-------|
| 蒸気圧 | データなし |
| 密度及び/又は比重 | |
| 相対密度 | データなし |
| 蒸気濃度 | データなし |
| かさ密度 | データなし |
| 相対ガス密度 | データなし |
| 粒子特性 | |
| 粒径 | 該当しない |
| 粒径分布 | 該当しない |

その他の情報

| | |
|-----|------|
| 爆発性 | 情報なし |
| 酸化性 | 情報なし |

10 : 安定性及び反応性

| | |
|-------------|------------------|
| 反応性 | 通常の使用条件下ではない。 |
| 化学的安定性 | 通常の下で安定。 |
| 危険有害反応可能性 | 通常の下で安定。 |
| 避けるべき条件 | 提供された情報に基づき知見なし。 |
| 混触危険物質 | 強酸化剤。 |
| 危険有害な分解生成物 | 提供された情報に基づき知見なし。 |
| 爆発データ | |
| 静電放電に対する感度 | なし。 |
| 機械的衝撃に対する感度 | なし。 |

11. 有害性情報急性毒性

毒性の数値尺度 - 製品情報
情報なし

略語及び頭文字

Rat: ラット

| | |
|------|---|
| 症状 | 吐き気。嘔吐。下痢。 |
| 経口 | この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 |
| 吸入 | 蒸気又はミストを吸い込まないようにすること。 |
| 皮膚接触 | この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 |
| 眼接触 | この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 眼に接触すると刺激を引き起こすおそ |

| | |
|------------------|----------------------------------|
| | れがある。 |
| 皮膚腐食性／刺激性 | 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。 |
| 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 | 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。 |
| 呼吸器感作性又は皮膚感作性 | 分類できない。 |
| 生殖細胞変異原性 | 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。 |
| 発がん性 | 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。 |
| 生殖毒性 | 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。 |
| 特定標的臓器毒性（単回ばく露） | 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。 |
| 特定標的臓器毒性（反復ばく露） | 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。 |
| 誤えん有害性 | 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。 |

12. 環境影響情報

| | |
|-----------|----------------------------------|
| 生態毒性 | 分類できない。 |
| 残留性・分解性 | 情報なし。 |
| 生態蓄積性 | 情報なし。 |
| 土壤中の移動性 | 情報なし。 |
| オゾン層への有害性 | 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。 |
| 他の有害影響 | 情報なし。 |

13. 廃棄上の注意

| | |
|----------|---|
| 残余廃棄物 | 当物質の処分は、認定の専門廃棄物処理サービスに相談すること。可燃性溶剤で溶解または混合し、アフターバーナー、スクラバーが備わった化学焼却炉で焼却すること。残り物及びリサイクルができないものは、認定の処理会社に渡すこと。 |
| 汚染容器及び包装 | 未使用の製品は処分すること。 |

14. 輸送上の注意

| | |
|-------------|-------|
| <u>日本</u> | 規制対象外 |
| <u>IMDG</u> | 規制対象外 |

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質
情報なし

IATA

規制対象外

15. 適用法令国内規制**2023年3月31日迄** 化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)

該当しない

2023年4月1日以降 化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)

該当しない

労働安全衛生法

該当しない

通知対象物質

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法:

該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 (化審法)

該当しない

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

大気汚染防止法

大気汚染防止法第3条に排出基準が規定されている大気汚染物質

大気汚染防止法第2条、第4項で定める揮発性有機化合物

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

国際インベントリー

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること

16. その他の情報

発行日 02-11-2022

改訂日 02-11-2022

改訂記録 第1版。

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

TWA

TWA (時間加重平均)

天井値

最大限界値

*

経皮吸収

+

感作性物質

本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

米国環境保護庁ChemViewデータベース
欧州化学品局
欧州食品安全機関 (EFSA)
EPA (米国環境保護庁)
急性ばく露ガイドラインレベル (AEGL)
米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法
米国環境保護庁高生産量化学物質
フードリサーチジャーナル (Food Research Journal)
危険有害性物質データベース
国際統一化学情報データベース (IUCLID)
製品評価技術基盤機構 (NITE)
オーストラリア国家工業化学品届出審査機構 (NICNAS)
NIOSH (米国労働安全衛生研究所)
米国医学図書館ChemID Plus (NLM CIP)
米国国家毒性プログラム (NTP)
ニュージーランド化学物質分類・情報データベース (CCID)
経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書
経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム
経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット
世界保健機構

免責事項

この安全データシートは、JIS Z 7253:2019 に準拠しています。このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい（洩）時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシートのおわり